



(研修員応募時)

胸部レントゲン撮影に同意をしているか？

はい

※レントゲンは、研修開始1年前まで有効

いいえ

現地で胸部レントゲンを撮影できるか？

本邦研修参加不可
(来日不可)

はい

いいえ

国内責任者へフィルムを郵送

事務担当者へ読影のためのID作成依頼

初診受付にID作成と画像取り込み依頼をする。
読影医(放射線診断科医師)に読影依頼をする。

読影医は読影、診察記事記載終了後、事務担
当者に読影終了の連絡をする。

事務担当者から受領した読影結果を確認する

正常

異常

別添2の書類を作成する

別添2を院内感染
対策責任者に提
出し、承認を得る

院内感染対策責任者に連絡

研修員に追加書類、検査要請

追加書類、検査について、現地の
担当医が"Medical Certification
for TB control"(別添4)を作成

追加書類が届き次第、2日以内に
院内感染対策責任者が最終判断

来日後、レントゲン撮影とす
るための代理受診手続きへ

院内感染対策担当部署にID
作成依頼と予約

代理受診

来日許可

来日不可

レントゲン検査
のオーダーを
入れる

別添3を作成し、
国内責任者に
渡す

予約した日に研修員を
対象の診療科へ案内

検査結果を別添3に記載
し、国内責任者に渡す

(研修員選定時)

選定の可否結果とともに、参加者へ結果報告

現地責任者

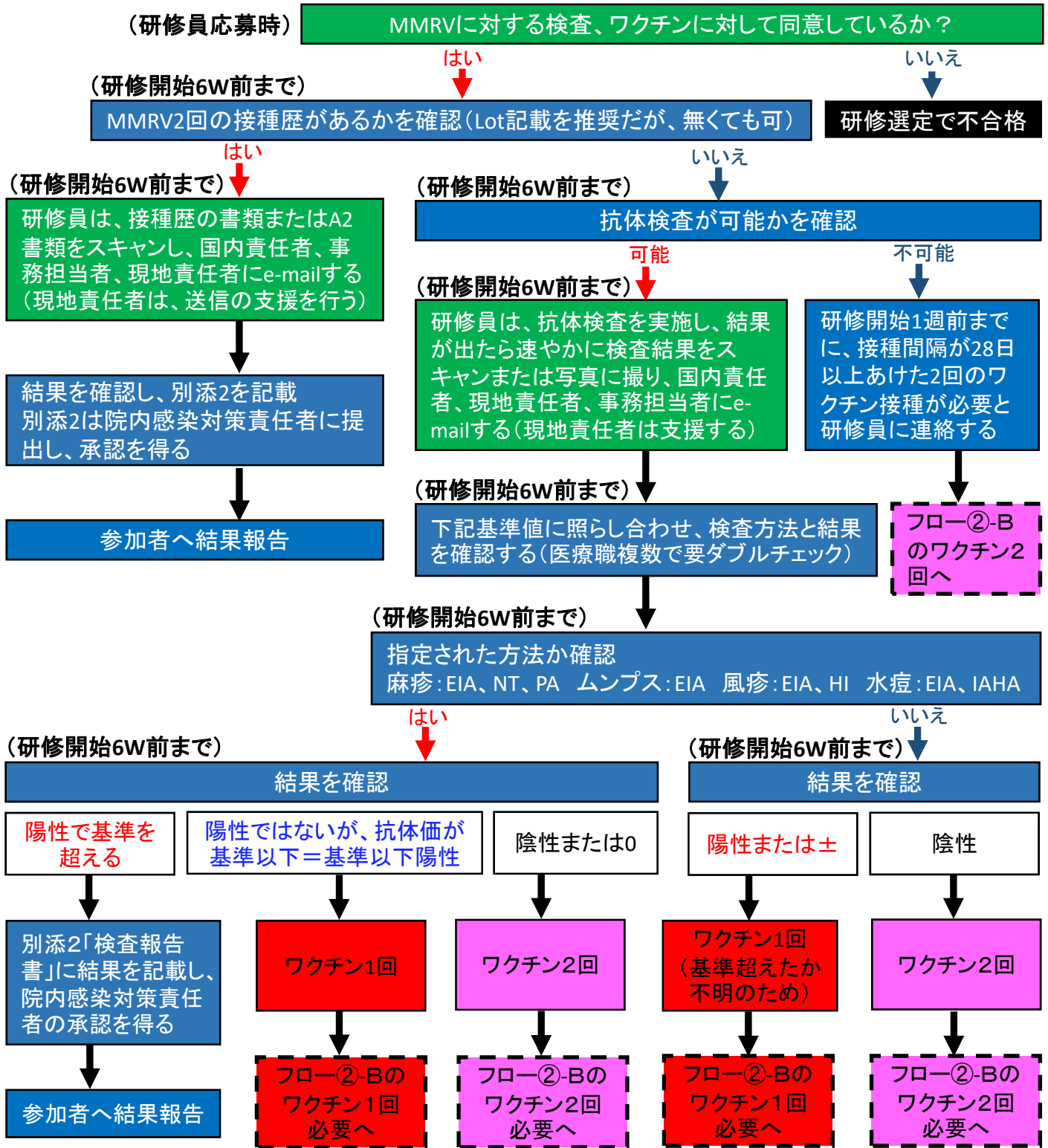
国内責任者

院内感染対策責任者

事務担当者



研修員と国内責任者は、直接メールでやりとりを行う (CCで現地責任者)
研修員とのやりとりが困難な場合には、現地責任者が連絡をとれる体制を支援する



定められた方法*と定められた基準値**

麻疹 (Measles) EIA法で 0.72 IU/mL以上 (日本は16以上)、NT法で 1:8 以上、PA法で 1:256 以上

流行性耳下腺炎 (Mumps) EIA法で positive (日本は4以上)

風疹 (Rubella) EIA法で 18.4 IU/mL以上 (日本は8以上)、HI法で 1:32 以上

水痘 (Varicella) EIA法で Positive (日本は4以上)、IAHA法で 1:4 以上

現地責任者
国内責任者
院内感染対策責任者
事務担当者

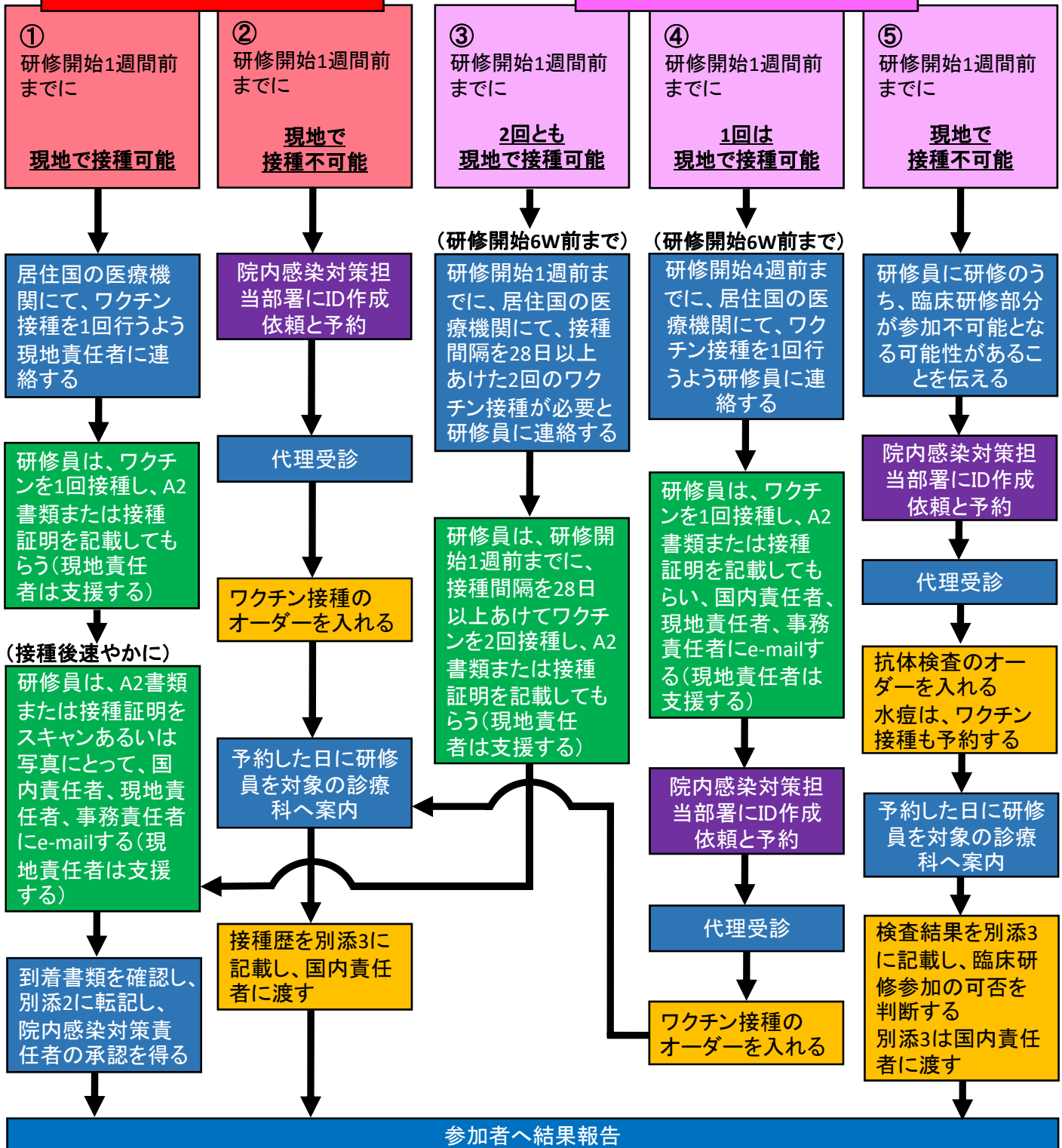
ワクチン接種が必要であると判断された

(研修開始6W前まで)

研修員にワクチン接種が必要な旨メール連絡(CC:現地責任者、事務担当者)し、必要なワクチン接種回数をもとに、現地でのワクチン接種が行える状態かどうか確認する

ワクチン接種が1回必要

ワクチン接種が2回必要



現地責任者

国内責任者

院内感染対策責任者

事務担当者